

BUSINESS REVIEW 2013

ビジネスレビュー 2013

2012年9月1日 ~ 2013年8月31日

株式会社 ファーストリテイリング



GROUP HIGHLIGHTS 2013

2013年8月期 通期連結業績

売上高1兆1,430億円(前期比23.1%増)と、初の1兆円超え
営業利益1,329億円(同5.1%増)と、過去最高益を更新

期末配当金

1株当たり150円へ増額、年間では290円へ

国内ユニクロ

客数増加により大幅増収となるも、営業利益は減益

海外ユニクロ

大幅な増収増益を達成

特に中華圏(中国、香港、台湾)、アセアン諸国の業績が拡大
4月に香港にグローバル旗艦店、リー・シアター店をオープン
6月にインドネシアに初出店

米国で本格的なチェーン展開を開始

海外ユニクロは446店舗と、ユニクロ事業全体の1/3となる

ジーユー

大幅な増収増益を達成

今期は1,000億円の売上突破をめざす

セオリー

過去最高益を更新、PLST(プラステ)事業も順調に拡大

CSR活動

グラミン銀行と共同で立ち上げたソーシャルビジネスで、
バングラデシュに初のグラミンユニクロ店をオープン

たくさんのお客様が見守るなか、テープカットが行われました



インドネシアに、 東南アジア最大級の ユニクロ誕生

インドネシア初のユニクロが、6月22日に首都のジャカルタにオープンしました。東南アジアでは、シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピンに続く出店です。ロッセ ショッピング アベニュー内のこの店舗は、約810坪という東南アジア最大級の売場面積を誇ります。初日の幕開けは、先着1,000名様へのプレゼントである特製トートバッグが30分でなくなる大盛況でした。世界第4位の人口を抱え、中間層の拡大が続くインドネシアに基盤ができたことで、ユニクロのさらなる飛躍と拡大が期待されます。



オープン前から多くのお客様にお集まりいただきました



「グローバル化、グループ化、再ベンチャー化」で世界一をめざす

2013年度は、我々がめざしてきた「グローバル化、グループ化、再ベンチャー化」の成果が出た年です。初めて売上高が1兆円を超え、過去最高益を更新することができました。

2013年度のユニクロの売上トップ10のうち7店舗が海外店舗で、グローバル化が進んでいます。店舗数も海外店舗が全店舗の3分の1(1,299店舗中446店舗)にまでに拡大しています。すでにユニクロ事業全体の売上高の27%、営業利益の16%を、海外ユニクロ事業が占めるに至っています。今後も海外ユニクロ事業が、我々の成長エンジンであることは間違いありません。

なかでも成長が期待されているのが、アジア・環太平洋地区です。このエリアは世界の経済発展の中心であり、中産階級の人口急拡大で、消費の爆発的な伸びが予想されます。ユニクロはこのエリアに多くの店舗を展開し、成長を加速化させています。特に中華圏(中国、香港、台湾)では年間約100店舗を出店し、急成長を遂げています。4月には香港にグローバル旗艦店、9月末には上海にグローバル旗艦店を出店し、中華圏におけるブランドポジションを確かなものにしていきます。2013年度の中華圏の売上高は1,250億円、営業利益は135億円に達しました。

アジアに続き、次の成長の舞台として注力しているのが、米国です。2014年度は、郊外ショッピングモールを中心に15店舗を出店する計画です。数年以内には、100店舗のチェーン展開が期待できます。

グループ事業については、GU(ジーユー)の高い成長が続いています。2013年度の売上高は837億円、営業利益は76億円に達しました。「旬なファッションと驚きの価格」のブランドとして、日本市場で

の認知度は85%(2013年6月、GU調べ)にまで高まっています。9月末には、海外1号店を上海にオープンし、グローバルブランドへの足がかりをつかみました。

再ベンチャー化の精神ということでは、新カテゴリ創造への挑戦が挙げられます。ユニクロは、スポーツウエア、カジュアルウエアの次にくる、新しいカテゴリの服をつくりたいと思っています。“LifeWear”というコンセプトを掲げ、高品質でファッション性があり、それでいてベーシックな普段着として着心地が良く、日常を最も快適に過ごせる服をつくりたいと考えています。フリース、ヒートテック、エアリズム、ウルトラライトダウン、カシミアセーターなど、これまでユニクロが手がけてきた商品の数々が核になると思います。この新しいカテゴリの“LifeWear”がユニクロの強みであり、グローバル市場でのユニクロのポジショニングを確かなものにすると思っています。

そして忘れてはならないのが、我々は服のビジネスを通し、世界中で、より良い生活に貢献する企業になりたいと考えているということです。バングラデシュでグラミン銀行と共同で立ち上げたソーシャルビジネスは、服の企画から生産・販売までを一貫したビジネスとして実践し、成果をあげています。7月にバングラデシュのダッカにオープンしたグラミンユニクロ1号店は、そのひとつです。これからも世界中で、より良い生活へ貢献するために、ソーシャルビジネスを含めたファーストリテイリンググループ全体が、力を合わせて前進していきます。



ユニクロ上海店(グローバル旗艦店)

上海に、世界最大のユニクログローバル旗艦店がオープンしました

2013年9月30日、中国の上海市にユニクロの世界最大のグローバル旗艦店がオープンしました。上海有数の繁華街である淮海路にあるグローバル旗艦店は、地下鉄駅から直結する地下1階地上5階の建物です。ユニクロの売場面積は約2,000坪、同じ建物内には中国大陸に初進出するファーストリテイリング傘下の4ブランド(ジーユー、コントワー・デ・コトニエ、プリンセス タム・タム、PLST)も顔をそろえ、総面積は2,400坪を上回る広さです。お客様はユニクロを中心に、デザインや価格帯が異なるグループブランドを見比べながら、ショッピングを楽しむことができます。

オープン初日は午前10時の开店前から大勢のお客様にお並びいただき、ユニクロに対する期待の大きさがうかがえました。最新のユニクロを発信していくため、最上階の5階では月替わりで最新の商品を紹介していきます。また、店内には約1,000体のマネキンを配置し、商品のコーディネートを目でわかりやすく提案しています。

2010年度末に54店舗だった中国のユニクロは、2013年度末には225店舗にまで急成長しました。上海グローバル旗艦店のオープンを機に、中国での出店をより加速し、1,000店舗をめざします。



ユニクロの米国展開



Palisades Center Store



Westchester's Ridge Hill Store



Garden State Plaza Store

Westfield Trumbull Shopping Center Store

New York

Connecticut

New Jersey



Union Square Store



5th Ave Store

米国市場で、ユニクロのチェーン展開が始まりました

米国にあるユニクロの店舗は、2014年度末には22店舗になる予定です。その後は毎年20~30店舗をオープンさせ、数年後には100店舗まで拡大させる計画です。そのほとんどの店舗は、集客力の大きいニューヨークやサンフランシスコの郊外ショッピングモール内にオープンさせていきます。

ユニクロがニューヨーク5番街にグローバル旗艦店をオープンしたのは、2011年秋です。その後は着実にブランドポジションを獲得し、ユニクロのようなベーシックで品質が良いブランドはほかにはないという認識が少しずつ広がっています。米国のお客様の層は非常に幅広く、人種もさまざま、洋服のサイズも多種多様です。そうした米国人の日常により密着したカジュアルウェアを提供することで、ユニクロは成長していけるでしょう。グローバル化されたデザインとローカル化したサイズの提供は、今後の課題です。と同時に、

広い国土をカバーするためには、出店の加速だけでなく、インターネット販売ももっと強くしていかなければなりません。

私は米国の某アパレル大手小売企業で20年以上のキャリアを積み、この業界を熟知しています。ユニクロの商品の品質へのこだわりやサービス精神はブランドとしての強みであり、新しい市場での成功にはその強みを理解する人材の育成が決め手となります。私のミッションのひとつは、日本のユニクロのDNAを受け継ぐ米国人の店長・経営者を育成し、彼らが活躍できる会社をつくりあげること。そして「ユニクロを米国No.1のアパレルブランドにする」ことです。

ファーストリテイリンググループ執行役員
FAST RETAILING USA
米国UNIQLO事業 COO
ラリー・マイアー



日本発のファストファッション、 ジーユーの海外1号店が、 上海にオープンしました

ジーユーの海外1号店が、2013年9月30日にユニクロの上海グローバル旗艦店の地下1階にオープンしました。上海の繁華街の地下鉄駅から直結しているジーユーの売場は、気軽に多くのお客様にお越しいただけます。約300坪という広い売場には、最新トレンドのファッションがリーズナブルな価格で勢ぞろいしています。「ファッションを、もっと自由に。」というコンセプトを上海のお客様にも存分に楽しんでいただけるように、日本と同じ商品を揃え、店頭での「おしゃリスタ」による着こなしアドバイスも大好評です。

ブランド誕生から約7年という短い期間で、ジーユーは海外進出を果たすことができました。アパレルブランドの海外進出は、香港から中国本土に進出するのが一般的ですが、ジーユーはスピード感をもって海外展開したいと考え、あえて上海という立地に1号店をオープンすることにしました。欧米のファストファッションとは一味違う、日本発のファストファッションの代表であるジーユーは、アジア市場でも高い人気を博する可能性があります。デザインし過ぎず、バランス感覚にすぐれたトレンド感とディテールへのこだわりといった日本的な「かわいい」が、ジーユーの強みです。



Bangladesh で ソーシャルビジネスを確立。 グラミンユニクロの1号店を ダッカにオープン



服の企画・生産・販売までの一貫した
 ソーシャルビジネスを通し、
 世界中でより良い生活に貢献します



Grameen UNIQLO

2013年7月、Bangladeshの首都ダッカにグラミンユニクロ初の店舗がオープンしました。ユニクロが培った製造小売業のノウハウが生きたTシャツ、ポロシャツなどが、2USドル～15USドルで販売されています。素材調達から生産までもが現地で行われ、その販売を通じて得た利益はすべて、ソーシャルビジネスの今後の成長のために再投資されます。

ユニクロは、2011年にグラミン銀行グループと共同でソーシャルビジネスを立ち上げました。貧困・衛生・ジェンダー・環境・教育などの社会的課題を、ビジネスを通じて解決し、一人ひとりが自立した生活ができるようになることをめざすのがソーシャルビジネスです。グラミンユニクロは、これからも現地の雇用創出に大きく貢献していきたいと考えています。



ダッカのグラミンユニクロ店

笑顔で接客するグラミンユニクロのスタッフ



当期の連結業績は、売上高11,430億円(前期比23.1%増)、営業利益は1,329億円(同5.1%増)、経常利益は1,489億円(同19.0%増)、当期純利益は903億円(同26.1%増)と過去最高益を更新いたしました。

連結売上高の60%を占める国内ユニクロ事業は、課題としていた客数増を達成するため、ヒートテック、ウルトラライトダウン、エアリズムといったコア商品を中心に、TVCM、チラシ広告などの販促活動を積極的に行った結果、客数は前期比12.0%増と増やすことができ、既存店売上高も同7.3%増でした。しかし、値引き商品に売上げが集中したこと、シーズン末の在庫処分により、粗利率率は同1.8ポイント低下いたしました。また、4月からの店長手当制度新設などによる人件費増で、売上高販管費比率は同0.6ポイント上昇し、営業利益は同5.4%減と減益の結果でした。

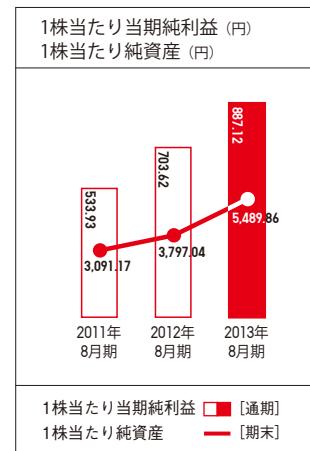
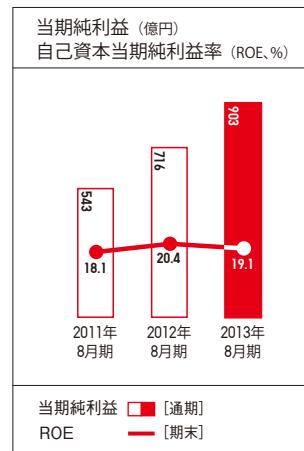
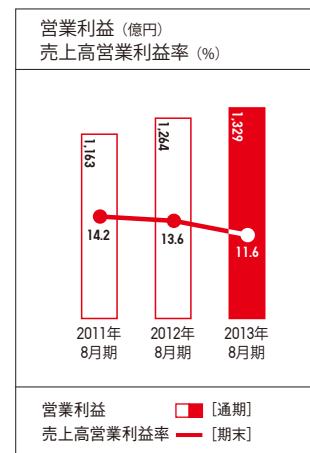
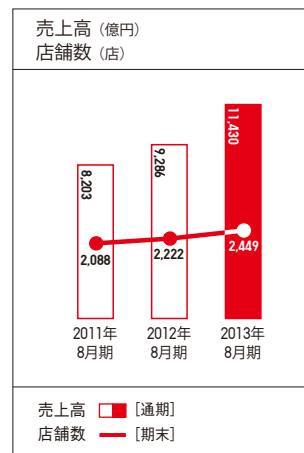
海外ユニクロ事業は、特にアジア地区で店舗数が大幅に増え、売上高は2,511億円(同64.0%増)、営業利益は183億円(同66.8%増)と、大幅な増収増益でした。なお、中華圏(中国、香港、台湾)の売上高は1,250億円、営業利益135億円のビジネスに拡大しております。

グローバルブランド事業の売上高は2,062億円(同34.8%増)、営業利益174億円(同20.1%)と大幅な増収増益となりました。特にジーユー事業が好調で、売上高は837億円(前期約580億円)、営業利益は76億円(前期約50億円)と、事業を拡大しております。また、セオリー事業も順調に事業を拡大し、過去最高益を更新しております。

当期の1株当たり配当金は、中間配当金140円、期末配当金150円を含め、290円にさせていただきます。

3年間の連結業績推移			
	2011年 8月期	2012年 8月期	2013年 8月期
売上高(百万円)	820,349	928,669	1,143,003
営業利益(百万円)	116,365	126,450	132,920
売上高営業利益率(%)	14.2	13.6	11.6
当期純利益(百万円)	54,354	71,654	90,377
総資産(百万円)	533,777	595,102	885,800
純資産(百万円)	319,911	394,892	579,591
自己資本比率(%)	59.0	65.0	63.2
自己資本当期純利益率(ROE、%)	18.1	20.4	19.1
フリーキャッシュ・フロー(百万円) ^{※1}	30,515	92,330	35,538
現金及び現金同等物期末残高(百万円)	202,104	266,020	295,622
1株当たり当期純利益(円)	533.93	703.62	887.12
1株当たり期末純資産(円)	3,091.17	3,797.04	5,489.86
1株当たり年間配当金(円)	180.00	260.00	290.00
(1株当たり中間配当金)	(95.00)	(130.00)	(140.00)
連結配当性向(%)	33.7	37.0	32.7
発行済株式数(株) ^{※2}	101,816,013	101,854,222	101,896,492
時価総額(億円、8月末日終値ベース)	14,742	18,608	32,504
期末総店舗数(店)	2,088	2,222	2,449

※1 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー
 ※2 期末発行済株式数は期末自己株式数を控除しております。



連結財務諸表



連結貸借対照表		単位：百万円	
	前期末 2012年8月31日現在	当期末 2013年8月31日現在	増減金額
資産の部			
流動資産：			
現金及び預金	132,238	147,429	15,191
受取手形及び売掛金	19,920	34,187	14,267
有価証券	133,788	148,215	14,427
たな卸資産	98,963	166,654	67,691
その他	39,605	143,622	104,017
流動資産合計	424,516	640,109	215,593
固定資産：			
有形固定資産	69,222	90,405	21,183
無形固定資産	38,216	78,115	39,899
投資その他の資産	63,146	77,170	14,024
固定資産合計	170,586	245,690	75,104
資産合計	595,102	885,800	290,698
負債の部			
流動負債：			
支払手形及び買掛金	71,142	121,951	50,809
未払法人税等	27,738	26,005	△1,733
その他	74,496	106,008	31,512
流動負債合計	173,378	253,966	80,588
固定負債：			
長期借入金	9,129	21,926	12,797
その他	17,702	30,316	12,614
固定負債合計	26,831	52,243	25,412
負債合計	200,210	306,209	105,999
純資産の部			
資本金	10,273	10,273	—
資本剰余金	5,541	5,963	422
利益剰余金	419,093	482,109	63,016
自己株式	△16,003	△15,851	152
その他の包括利益累計額	△32,160	76,901	109,061
新株予約権	755	1,170	415
少数株主持分	7,392	19,024	11,632
純資産合計	394,892	579,591	184,699
負債純資産合計	595,102	885,800	290,698

【連結財務諸表のポイント】

- 現金及び預金、有価証券の合計額は前期末比で296億円増加
各事業の営業キャッシュ・フローが増加したことによります。
- たな卸資産は前期末比で676億円増加
国内ユニクロ事業では208億円増加。店舗仕器の高層化による店頭在庫増、通年で販売する定番商品の増加が主な要因です。海外ユニクロ事業では385億円増加。香港のグローバル旗艦店を含め、前期末比で154店舗が増加したことが要因です。グローバルブランド事業では71億円増加。ジーユー、セオリーの事業拡大、J Brandの在庫を連結したことが要因です。
- 有形固定資産は前期末比で211億円増加
主に海外ユニクロ事業での出店拡大、グローバル旗艦店の出店によるものです。
- 為替予約勘定(流動資産「その他」)が1,136億円増加
国内ユニクロ事業が保有する為替予約の平均レートと期末のスポットレートとの乖離幅が改善したことから、含み損が減少したことによるものです。ヘッジ会計を適用していることから、損益への直接的な影響はありません。

連結損益計算書		単位：百万円	
	前期 自2011年9月 1日 至2012年8月31日	当期 自2012年9月 1日 至2013年8月31日	増減金額
売上高	928,669	1,143,003	214,334
売上原価	453,202	578,992	125,790
売上総利益	475,466	564,011	88,545
販売費及び一般管理費	349,016	431,091	82,075
営業利益	126,450	132,920	6,470
営業外収益	2,121	17,628	15,507
営業外費用	3,359	1,569	△1,790
経常利益	125,212	148,979	23,767
特別利益	327	390	63
特別損失	2,149	7,845	5,696
税金等調整前当期純利益	123,390	141,525	18,135
法人税、住民税及び事業税	45,879	54,486	8,607
法人税等調整額	3,084	△6,218	△9,302
少数株主損益調整前当期純利益	74,426	93,256	18,830
少数株主利益	2,771	2,879	108
当期純利益	71,654	90,377	18,723
<p>⑤ 売上高は11,430億円、前期比23.1%の増収 増収の内訳は、国内ユニクロ事業が632億円の増収、海外ユニクロ事業が980億円の増収、グローバルブランド事業が532億円増収となっております。</p> <p>⑥ 売上高総利益率は49.3%、前期比1.9ポイント減少 国内ユニクロ事業において、顧客の価格志向が強く、値引き商品に人気が集中したことが主な要因です。</p> <p>⑦ 売上高販管費比率は37.7%、前期比0.1ポイント増加 国内ユニクロ事業で店舗人件費が増加したことなどによるものです。</p> <p>⑧ 営業外収支は前期比172億円の改善 前期は、海外子会社向けの立替金や、グループ間の貸付金にかかわる為替差損11億円が発生いたしました。当期は円安により、為替差益が155億円と大きく増加したことによります。</p>			

連結キャッシュ・フロー計算書		単位：百万円	
	前期 自2011年9月 1日 至2012年8月31日	当期 自2012年9月 1日 至2013年8月31日	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,643	99,439	△28,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,313	△63,901	△28,588
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,056	△23,945	5,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	68	18,007	17,939
現金及び現金同等物の増減額	63,341	29,600	△33,741
現金及び現金同等物の期首残高	202,104	266,020	63,916
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	574	1	△573
現金及び現金同等物の期末残高	266,020	295,622	29,602
<p>⑨ 当期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末比で296億円増加し、2,956億円となりました。国内ユニクロをはじめとする各事業の利益貢献1,415億円などにより、営業活動による収入は994億円となりました。投資活動による支出は639億円、配当金の支払などの財務活動による支出は239億円となっております。</p>			

■会社概要

商号	株式会社ファーストリテイリング FAST RETAILING CO., LTD.
本社事務所	山口県山口市佐山717番地1
東京本部	東京都港区赤坂9丁目7番1号 ミッドタウン・タワー
設立	1963年5月1日
資本金	102億7,395万円
事業の内容	株式又は持分の所有によるグループ全体の事業活動の支配・管理等
連結従業員数	23,982名

■取締役・監査役 (2013年11月21日現在)

代表取締役会長兼社長	柳井 正	常勤監査役	田中 明
取締役(社外)	半林 亨		新庄 正明
	服部 暢達	監査役(社外)	安本 隆晴
	村山 徹		渡邊 顯
	新宅 正明		金子 圭子
	名和 高司		

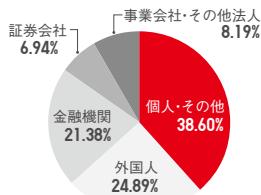
■株式の状況

会社が発行する株式の総数	300,000,000株
発行済株式の総数(自己名義株式を含む)	106,073,656株
株主数(自己名義株式を含む)	8,833名

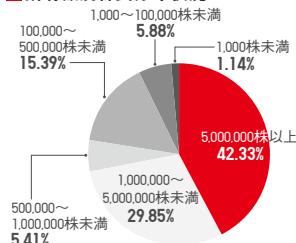
■大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
柳井 正	22,987,284	21.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,009,100	9.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,599,800	6.22
ティティワイマネージメントビーヴイ	5,310,000	5.01
柳井 一海	4,781,808	4.51
柳井 康治	4,780,600	4.51
有限会社Fight&Step	4,750,000	4.48
株式会社ファーストリテイリング(自己株式)	4,177,164	3.94
有限会社MASTERMIND	3,610,000	3.40
柳井 照代	2,327,848	2.19

■所有者別株式分布状況



■所有数別株式分布状況



■株主メモ

事業年度	9月1日～翌年8月31日
定時株主総会	毎年11月下旬
同総会議決権行使株主確定日	毎年8月末日
期末配当金受領株主確定日	毎年8月末日
中間配当金受領株主確定日	毎年2月末日
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部(証券コード 9983)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	

電話お問い合わせ
郵便物送付先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL: 0120-232-711(通話料無料)

公告方法

電子公告により、当社ホームページ (<http://www.fastretailing.com/jp/ir/>) に掲載いたします。なお、事故その他のやむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

また、当社の貸借対照表及び損益計算書は当社ホームページの上記アドレスに掲載しております。

単元株式数 100株

- ご注意
- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店にお問い合わせください。

ユニクロ お客様窓口 0120-090-296 9:00~17:00(年中無休)

IRホームページ紹介

<http://www.fastretailing.com/jp/ir/>



FAST RETAILING

www.fastretailing.com

「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」